

2 地域のキーパーソンに対して

○目指す姿

地域福祉を推進するにあたり、地域のキーパーソンのパワーは重要な要素となり、その役割は大きいことから、地域のキーパーソンとして活動する人材を支えるとともに、新たにキーパーソンとして活動する人材を増やし、関係機関と連携して、「我が事」とする地域づくりに取り組んでいく。

○市町村、社協等の取組み

- ・各種研修を実施（民生委員・児童委員への研修など）。
- ・地域のキーパーソンを含めた関係機関等とのネットワークの構築。

○課題

- ・地域のキーパーソンとなる担い手がない。（民生委員・児童委員、自治会役員他）
- ・現に地域のキーパーソンとして活動している人の負担が大きい。
- ・研修等を行っても、いつも参加者は同じ人たちである。
- ・住民は、ボランティアや地域の活動には興味はあるが、キーパーソンとなるのは、責任が生じるなど負担感が強いと感じている。
- ・活動の指針となるような事例集がない。

○取組みの方向性

- ・地域での活動事例集を作成し、好事例等を広く周知することで、すでにキーパーソンとして活動している人たちを後押しする。
- ・また、キーパーソンの活動のうち垣根の低い活動を掲載し、新たなキーパーソンとなりうる住民の心理的な負担感を軽減し、新たな人材を増やす。
- ・専門人材や関係機関等と連携した体制（ネットワーク）づくりを進めることにより、地域のキーパーソンが複合的で複雑な地域生活課題を一人で抱え込まないようにする。

3 専門人材に対して

○目指す姿

それぞれの職務や職場における役割において、地域住民、地域で活躍する人材及び関係機関等と連携し、地域における課題の発見及び解決に対して協働して取り組むなど「我が事・丸ごと」の地域づくりを進めていく。

○市町村、社協等の取組み

- ・市町村において、地域住民、相談機関等と連携した包括的な支援体制の整備を目指し取り組んでいる。
- ・市町村において、地域の実情に応じた人材や場所で、地域住民の相談を包括的に受け止める相談員の配置を進めている。

○課題

- ・すでに、地域包括支援センターの職員や障害者相談支援事業所の相談員等の専門職に対しては、それぞれ既存の研修があり、人材の育成はされているが、専門人材や地域のキーパーソンをつなぐネットワーク等の包括的な支援体制の整備状況が市町村によって大きく異なる。

○取組みの方向性

- ・市町村において、地域住民や各関係機関とのネットワークづくり等の包括的な支援体制の整備がより一層進むよう支援する。

4 市町村及び社協の人材育成企画専門職に対して

○目指す姿

それぞれの市町村において、地域住民等が地域生活課題を把握し、関係機関との連携等により課題の解決を図れるよう、市町村等の人材育成専門職は、効果的な研修カリキュラムや手法等をもって、それぞれの実情に応じた地域のキーパーソン等担い手を育成する。

○市町村、社協等の取組状況

- ・ほとんどの団体で、人材育成企画専門職に対する研修は実施していない。

○課題

- ・市町村で企画専門職に対する研修は、ほとんど実施できていない。
- ・研修講師の情報が不足している。
- ・各市町村では、人材育成については苦慮しており、他自治体の取組状況がわからない。

○取組みの方向性

- ・各市町村等における人材育成企画職員の研修等によるスキルアップを図る。
- ・講師等の情報の共有化と必要に応じた講師の派遣。